

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月24日

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 3770102592 |
| 法人名 | 社会福祉法人瑞祥会 |
| 事業所名 | グループホーム真珠の湯 |
| 所在地 | 香川県高松市新田町甲2712-1 (電話) 087-818-1050 |

| | | | |
|-------|-------------------|-------|-------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人香川県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 香川県高松市番町一丁目10番35号 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年9月5日 | 評価決定日 | 平成19年10月24日 |

【情報提供票より】(19年 8月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-----------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)15年 9月 1日 |
| ユニット数 | 2ユニット 利用定員数計 18人 |
| 職員数 | 14人 常勤 9人、非常勤 5人、常勤換算 18.0人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|-------------------|
| 建物構造 | 鉄骨造り 2階建ての2階部分 |
|------|-------------------|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|---------|----------------|--------|---|
| 家賃(平均月額) | 36,000円 | その他の経費(月額) | 7,500円 | |
| 敷金 | 有(円) | (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| 一日当たり 1,000円 | | | | |

(4) 利用者の概要(8月 10日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 1名 | 女性 | 17名 |
| 要介護1 | 8名 | 要介護2 | 5名 | | |
| 要介護3 | 3名 | 要介護4 | 2名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 85.1歳 | 最低 | 74歳 | 最高 | 94歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------|
| 協力医療機関名 | 百石病院(内科・外科) |
|---------|-------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム真珠の湯は、同一法人の老人保健施設・ケアハウス・身体障害者施設などの敷地内にある。また、名称は、温泉の湯が出ていることから名づけられている。

今年から職員が一丸となって医療と看取り介護に力を入れており、創立以来、利用者の認知度の進行状態を考え、今後は避けて通れない看取り介護に力点を置き、マニュアル作成や家族の安心、利用者の加齢と医療の重要性を第一に掲げ、取り組んでいる姿勢がうかがえる。今後一層の努力を期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 食事の雰囲気が改善項目となっていたので、昼食時一緒に食事をしたが、職員が一人だけ利用者の中に入り、他の職員は別のところで食事をしている。食事介助の必要性のみ考えるのではなく、食事の雰囲気作りと話しかけが重要と思われるので、個々を観察するよい機会として、今後は利用者の中で共に食べるような取り組みに期待したい。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 昨年と異なり、項目が少なくなったので、第一ユニット、第二ユニットの職員が、全員で協力して取り組んでおり、チームプレーがうかがえる。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | グループホームの地域密着型の重要性を職員がよく理解し、地域の方が訪問しやすい雰囲気がうかがえる。日曜日には温泉の“真珠の湯”を一般開放して、地域との交流の場としている。更なるPRをして、広く訪問される工夫が望まれる。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 利用者の毎日の記録や夜間の変化などが、引継ぎノートに詳細に記載され、引継ぎ時の確認、また、家族に不安を抱かさない工夫がうかがえる。苦情箱は入り口に設置されているが、家族会や面接時によく話され、協力的であるので、今までは問題発生はない。更なる取り組みを期待したい。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 自治会の夏祭り、小学生との交流、地域の地名語源調査等を、スライドを通し発表している、ゲームやトランプ、折り紙を使い、交流し、最初はどちらも遠慮がちであっても、終わる頃には和やかになり、雰囲気が明るくなっている。今後も、更なる取り組みを期待したい。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 前回の外部評価の改善点である法人の理念が長いので、スローガンをグループホームの理念にしたいとの意見があり、“笑顔あふれる、真心込めた支援”となった。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 新しい理念は、管理者や職員、利用者、家族が理解し、共有できやすく、朝のミーティングで周知徹底している。日常生活でも認識しやすくなるよう努力している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 自治会や小学校、地域の夏祭り、四季の変化の見学は、地域の方と一緒にしている。日曜日の温泉無料開放などを喜ばれている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 昨年の外部評価での改善点である食事の雰囲気づくりは、職員が調理、後始末以外は食事介助しているが、食事の中でこそ、家庭的雰囲気が出るので、その中で、個人の観察にも取り組むよい機会であるため、食事を共にすることが望まれる。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進委員の会議での意見を運営に反映させ、サービスの質の向上を図っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>同一法人施設内を中心に、地域包括支援センターや市町村との密なる連携をとり、サービスの向上を図っている。サービスが地域にも提供できるよう取り組んでいる。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月1回、家族に生活状態や行事、変化、健康状態、金銭出納を、通信便りとして発送している。緊急の時は、電話連絡をこまめにしている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>苦情箱は入り口に設置しているが、面接時や家族会、運営委員会において、家族の代表からの意見を重視し、早期解決により、今までは問題なく、家族も協力的である。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>馴染みの職員が離職し、利用者には不安を与えないよう、日頃から、職員の問題、情報の共有、待遇改善などを協議しており、努力がうかがえる。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>研修会で、法人内外にも参加して、勉強会を定期的開催している。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>昨年までは、近くにグループホームがあり交流していたが、今後は県内の研修会に参加し、サービスの質の向上に努めたい。</p> | ○ | <p>交流をもっと広めて、サービスの質の向上に期待したい。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 家族や本人をよく観察して、徐々に馴染めるように、職員がチームプレーで実施している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 調理、掃除、洗濯など、家事から日常生活における行動を共にして、喜怒哀楽を共感したり、信頼関係を構築している。 | ○ | 職員の増員があれば、利用者ともう少し関わられるが、業務に追われている状態のため、ゆっくり一緒に過ごせるように工夫が望まれる。特に、食事中、職員は利用者と共に過ごすことが望ましい。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 家族との連携を大切にして、利用者の希望、意向を尊重している。 | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ケアプランは本人の毎日の生活、食事、行動などから、必要に応じて見直し、家族の意見、職員の意見を反映、実施している。 | ○ | 今年から看取り介護を取り入れ、医師の行動障害の観察や、より多くの関係者からのいろいろな意見を聞き、ケアプラン作成に努めて欲しい。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎朝のミーティングで、利用者の個々の変化について話し合い、モニタリングによりケアプランの見直しを実施している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 加齢と共に、一日一日で変化してくる利用者により、良い介護を職員で考えながら、看取り介護の重要性を確認、認識して、介護の大切さを支援している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族の希望で、かかりつけの歯科医、眼科医について、外来受診を支援している。他の受診は、グループホームで訪問診療を実施している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 今年から取り入れている”見取り介護”の指針を打ち出し、家族への説明、職員の認識も深まっている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者のプライバシーに配慮した接し方や声かけなどを、大切にしている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人のペースで、ゆったりした毎日が送れるようにしており、ホームの大まかな計画以外に、利用者個々を中心とした生活を支援している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理、洗濯、掃除、散歩等と同じく、食事は準備、後片づけ、盛り付け等を、職員と一緒に楽しくできるよう支援している。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 個々の希望に添って、できる限り支援しているが、業務の都合で時間帯が決まる時がある。 | ○ | 真珠の湯は、温泉法で認可されている良質の温泉のため、特に時間規制せず、入りたい時間に入れる工夫が望まれる。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 個々の可能な役割を支援し、活力ある生活が送れるよう職員一同で支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | スーパーマーケットでの買い物、四季の花の見学、施設外のレクリエーション、敷地内にあるリハビリ公園の散歩、家族との外食など、多岐にわたる外出支援に努力している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 徘徊する方が数名いるので、安全性を考慮して、家族会で家族と話し合い、理解の下に、玄関に施錠している。 | ○ | 過去に徘徊で発見されたが、それ以外にも徘徊で危険な問題が報告された。今後、目配りや気配り等の何らかの工夫で、対策を検討されるよう期待したい。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害に対する訓練が少ないので、組織表の充実やマニュアルの熟読、実践訓練を増やして欲しい。 | ○ | 緊急時の対応の仕方について、訓練の回数を重ね、自信と各自の職責を確認し合い、いつでも活かせるように期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 法人内に2人の管理栄養士がいるので、個々の体重、運動量、状態変化などを支援し、水分を積極的に摂取できるよう実施している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | CD、テレビの音量は調整し、バックミュージックとして気持ちよい雰囲気である。また、ブラインドやカーテンによる光の調整にも配慮がうかがえる。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が家庭で使い慣れた家具や、生活用品を居室に自由に持ち込み、配置は個々の工夫がなされ、家庭的な温かみがうかがえる。 | | |